

◆年末年始 恒例祭のご案内

○大祓式 歳晚祭

十二月三十一日 水 午後二時

半年に一度個々の罪穢れを形代で祓うと共に一年の御加護に感謝を捧げます。 ※参列自由ですが、出来ない場合は、神社よりお正月さまと一緒に参り、

二日以後は通常通り予約制にて午前九時〜午後四時頃まで 毎日御祈禱をお奉仕致します

○元旦祭 一月一日

新年を言祝ぎ、皇室の弥栄と国家の繁栄、そして氏子崇敬者の平安と幸福を祈念致します。

○家内安全特別合同大祈願祭

一月一日 午前十一時〜

参列された家々の家内安全・家運隆昌など、新年にあたり、合同にてご祈禱を致します。

※ごなたでも参列出来ますので、希望者は十五分前までお越し下さい

○どんど祭 神楽初奉納あり

一月十四日 水 午後六時〜九時

古いお神札などを清浄な火でお焚き上げし、御神火に無病息災を祈ります。

三が日やどんど祭は甘酒を振るまいます

◆御祈禱のご案内

○家族並個人及団体祈禱

一月一日 午前七時〜午後一時

※ 随時御奉仕しておりますが、お受け出来ない時間もありますので、事前にご連絡下さい 要予約

二日以後は通常通り予約制にて午前九時〜午後四時頃まで 毎日御祈禱をお奉仕致します

家内安全祈願 厄除祈願、

商売繁盛祈願 合格祈願 等

○年末年始 神棚祭 氏神祭 家祓

正月へ出向致します 要予約

平成二十一年厄年表

節分まで早めにお祓いをお受け下さい

※ 上・生まれ年/下・数え年

	前 厄	本 厄	後 厄
男性	昭61年 24歳	昭60年 25歳	昭59年 26歳
	昭44年 41歳	昭43年 42歳	昭42年 43歳
	昭25年 60歳	昭24年 61歳	昭23年 62歳
女性	平4年 18歳	平3年 19歳	平2年 20歳
	昭53年 32歳	昭52年 33歳	昭51年 34歳
	昭49年 36歳	昭48年 37歳	昭47年 38歳

ホームページ 秋保神社で検索してください

秋保神社社報

平成二十年 秋保神社御鎮座千二百年
平成二十一年令記・秋保神社改称百年



例大祭奉納演芸大会で賑わう境内

◆ 初詣は先ず総氏神の秋保神社へ
◆ 一十五日は神社へお参りしましょう

二 挨拶

秋保神社社報 第五号
発行所 秋保神社社務所
代表者 宮司 高山晃和
仙台市太白区秋保町長袋清水久保北三二
電話 〇三三三九一三〇八 FAX兼

今年も早いもので年の瀬、あまり良いニュースが聞けない年でした。特に経済不況は明治維新・敗戦に続く日本の三大困難の到来と騒がれておりますが、明らかに人為的で、人心のおごりが色濃く、遙かに形而下の感があります。世界的な影響もあります。今日ほど人の心がバラバラで、民主主義をはき違え利己主義的になった結末が今日の状であり、その大本こそ危機感を覚え将来を憂います。しかし、私たち日本人は幾多の困難も乗り越え、美しい日本を築いてきた素晴らしい民族です。今こそ、何のために生き、生かされているか、温故知新「この言葉が見直される時だと感じます。奥深く心豊かに暮らしてきた先人たちに思いを致し、謙虚さや勤勉さを美風とする本来の日本人の心呼び起こし、正しい心をもって再起しなければなりません。その根幹にあるのは、素直に手を合わせる敬神崇祖」の誠の心ではないでしょうか。

一月の行事 予定

○三日 節分祭

事前に福豆を神社でお配り致しますので、希望者は御来社下さい。

○十一日 紀元節祭 奉祝国民大会

日本の建国を奉祝し建国祭を執り行い、その後市内中心部で行われる祝賀式典に参加します。

○十七日 祈年祭

収穫を祈る大祭で新嘗祭とともに全国の神社で行われる重儀

例大祭のお知らせ

平成二十一年の例大祭は、昔からの祭礼日である九月十五日を守りつつ、十二月十三日の土日に奉祝行事を行う予定です。

編集後記

今回一年ぶりに第五号を発刊いたしました。皆さんに神社について理解を深めて頂き、ご自分の神社として親しみをもって戴きたいと作っておりますので、読みにくいところや、分からないところはどうぞお気軽にお話下さい。さて、今年の正月はいろいろな企画がありますので初詣お待ち申し上げております。

平成二十一年丑年までもう少し、新年が輝かしい年となりますようお祈り申し上げます。

平成二十年・二十一年 奉祝事業

御創建千二百年 合祀改称百年奉祝大祭

平成二十年は、あたかも秋保神社の創始坂上田村麻呂が大同三年（西暦八〇八）熊野神社を創建してより千二百年という誠に大きな節目の年を迎え、今年の例大祭に併せ記念大祭を斎行致しました。更に平成二十一年には明治四十二年秋保五力村鎮守の全神社を合祀し秋保神社と改称し、秋保総鎮守の村社に列格してより百年という大切な記念の年を迎えます。奇しくも平成二十年・二十一年の二カ方が秋保神社にとりましても、また神社とともに歴史を刻んできた秋保町においても大変意義深い、悠久の歴史の中でも、特別な年となります。

この佳き年に神社においては別記の通り記念大祭及び記念事業等を計画し目下準備進行中ですが、御縁ある皆さんに御協力をお願い申し上げます。大変なご時世にもかかわらず、各位の温かい真心を御奉賛頂きましたことに心より感謝申し上げます。二十二年まで募財活動を続けますので、今後とも護持に御協力下さいますようお願い申し上げます。

御創建千二百年記念 例大祭齋行

恒例の例大祭が今年は九月十四 十五両日にわたり盛大に執り行われ、御創建千二百年奉祝行事も併せて催された。二日間とも神様の御加護で天候上大きな影響もなく、十四日には弓の儀式の後、午前十一時より拝殿で、続いて千二百年の由緒をもつ撰社 熊野神社の大前で記念祭を齋行。祝詞奏上の後、巫女の舞を奉奏、雅楽の調べの中、総代をはじめ神社庁長等多くの氏子崇敬者が参列し執り行われた。続いて十五日午前十一時には、恒例の例大祭の神事が総代若長をはじめ内外の来賓



湯立て神事

熊野社1200年記念祭



御創建1200年奉祝 雅楽奉納

小笠原流 弓術

が参列する中、厳粛に執り行われた。十四日は秋保の伝統芸能である仙台市無形文化財の秋保神社神楽が奉納され、続いて特殊神事である湯立て神事が行われた。十五日には御創建千二百年奉祝行事として本格的な雅楽の演奏 舞を奉仕頂いた。そして、両日とも出店が多数立ち並びお祭らしく飾り付けられた境内では、午後五時から奉納演芸大会が夜遅くまで行われた。今年、正式に祭典委員会が組織され、企画広報から運営まで担当し何度も会議を重ねて準備してきたので、例年に増して素晴らしいお祭りになった。また今年からは奉祝行事を休日にあわせ、演芸大会の開始時間も早めた。出だしは天気の関係もあって少なかったが、夕闇に包まれる頃になると竹灯籠に照らされた参道を沢山の老若男女がお参りに来られ、遠近のべ千人を越える人々で賑わった。内容としては去年に引き続き地元を中心とした多種多様な心籠もる出し物を奉納頂き、また福引きやおもしろ市をはじめ子供向けの企画も多数取り入れ、総代 若長 祭典委員がそれぞれの役目を果たし手作りで実施された。ご奉仕の方々には会場準備から仕切り、駐

車場から後片付けまで大変であったと思うが、皆の思いが纏まり、鎮守の神様のお祭りらしい、楽しいお祭りとなった。また協賛者の芳名は当日境内に掲げさせて頂いた。氏子各位、協力者、協賛者の皆さんに厚く感謝申し上げます。来年も多くの御参拝をお待ち申し上げます。

新嘗祭齋行

今年も十一月二十三日に恒例の新嘗祭が総代 若長らが参列し厳粛に齋行された。新嘗祭は皇居をはじめ全国の神社で大祭として執り行われる最も重要な祭で収穫を喜び御神徳に感謝する祭儀である。当社においても氏子の皆さんから奉納になった沢山の初穂を神前にお供えし、感謝の誠を捧げた。直会は芋煮を戴いた。さて、稲作と共に暮らしてきた日本民族にとって稲は「オのちのネ」ともいわれ、天照皇大御神様よりお授け頂いたみ恵みであり、我が国は農業を中心に今日を築いてきた国柄である。これを守るのには最も尊い使命と祖先より田畑が受け継がれてきたが、近年大変な状況になった。国策もろしく、国民一人一人が米の有り難さに気付き、全体で守っていかねければなりません。

秋保神社大看板完成



神社の顔となった大看板

例大祭にあわせ 秋保神社「大看板の竣工式が関係者参列のもと齋行された。この事業は平成十九年度よりの境内整備の一環として進められ記念祭に併せ完成を見たが、計画にあつては、由緒ある神社に相応しい立派な物とすべく、ご用材の吟味から、設計・加工・設置に至るまで全て総代有志が率先し、氏子の見本たるご奉仕 ぎ奉納を頂いた。高さ四段、後世に残る、神社のみならず秋保の大きな財産となる見事な看板となった。看板制作に際し例大祭に併せ、左記の篤志者に感謝状と記念品が渡された。

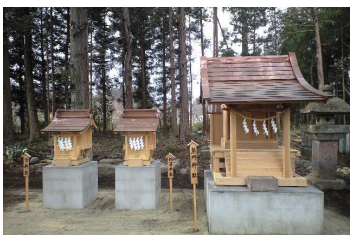
記

- 御用材・樺板、揮毫 中野正幸殿
- 御用材・杉柱 柴田 林殿
- 柱木工奉仕 佐藤永市殿
- 文字線刻 宍戸睦郎殿
- 表面仕上げ・他 ウッディポエム殿

ご祭神のご紹介 第五回

秋保神社ご祭神は諏訪の大神を主祭神に御本殿に九柱を祀りますが、他に本殿脇に熊野社・雷神社、稲荷社、石造りの天満社と拝殿前の奏社と五社の境内社があります。特に本殿脇の一番大きなお宮の熊野社は同神社にとつては重要な神様で撰社として祀られ、本年に千二百年を迎えるという坂上田村麻呂創建の熊野大神であります。詳細は不明ですが、御本社は紀伊半島和歌山県に鎮座し、蟻の熊野詣や世界遺産の熊野古道で有名な熊野本宮大社、熊野速玉大社・熊野那智大社の熊野三社であります。御祭神は天照皇大神の親神様で、国生みをなされた伊弉諾・伊弉冉尊の夫婦の神を中心とした神々を祀り、名取の熊野堂をはじめ三千社が全国に祀られており、広く信仰されています。

尚、この神の使いはサッカーの日本代表のシンボルマークでも知られる三本足の八咫鳥(やたがらす)です。



昨年改修された熊野神社(右)

新総代・監事 会計紹介

- | | |
|--------|------|
| 野口森安総代 | 斎藤弘勝 |
| 加沢総代 | 太田宏二 |
| 野中総代 | 岡崎正志 |
| 湯元総代 | 太田孝次 |
| 監事 兼総代 | 伊藤勇夫 |
| 会計 兼総代 | 猪又勳 |
| 会計補佐 | 相沢雅浩 |

祭典実行委員会発会

本年の例大祭を前に、総代若長をはじめ多くの有志が集い、祭典委員会が組織された。例大祭では中野正幸祭典委員長を中心に各担当部が組織され、それぞれの役割で率先し奉仕され、お祭りも心一つになって大いに盛り上がった。失われかけた地域の和がここから広がり、また活性化にも繋がる大変意義深いものではないかと感じた。出来ることから結構ですので、自分も何かをと思ったら、遠慮無く是非ご参加を。形は様々で結構ですが、何かしら地元之恩返しをするのは、その地域に住み恩恵を受ける者の責務だと思います。神社への奉仕はその最たるものであり、人として自らに最も徳なこととされており。